

令和7年度 生徒総会 鍛錬の汗

第3号
R 7.6.20
文責
窪田 智久



6月3日（火）の午後
年に1度の総会にあたり執行部をはじめ委員長の皆さんは、昨年度末から準備を進めてくれていました。本当にご苦労様でした。そのおかげで、引き締まつたとともによい雰囲気のもと総会を進めることができました。
執行部・委員長は、堂々と発表していく、さすが龍中の代表だと思いました。内容につれました。

い学校を作ろうと考えられたものでした。また、各学級で事前に話しあつて準備した質問や意見・要望に委員長が丁寧に分かりやすく回答し承認を得ることができました。

さて、言うまでもなく生徒会の主役は、全校生徒です。誰もが安全心して学び、過ごせる学校を自分たちで作ります。

校則の見直しについても、時代とともに改善が必要なこともあるでしょう。時代が変わつても守り続けることや、状況に応じて柔軟に考える必要もあるでしょう。そのような場面で、しつかりとした判断、そして意見ができるよう毎日を過ごしてほしいと思います。

今後の活発な生徒会活動を期待しています。

本年度の第1回竜北中学校運営協議会を開催しました。学校経営方針等の承認後、今協議を行ない、たくさん意見をいたしました。また、2年生の生徒4人（合計8人）が子どもC S委員となり、古閑会長から委嘱状の交付が行われました。



学校運営協議会

先輩

読み聞かせ（先生編）

氷川町戦没者追悼式

S C 委員の皆様や地域の皆様、教育関係の皆様等々から、進路学習の一環として、中学生活へ「どのように進路を選んだ動機ややり甲斐」「今の中学生へのメッセージ」等、講話をいただき機会を年に4回実施しています。今年度の第1回目は、6月16日(月)あいさつ運動後の8時15分からC S 委員の古閑

先生方による読み聞かせを5月に2回、朝の時間を使って実施しました（どのクラスで行うかは抽選しました）。どのクラスも楽しみに目を輝やかせて聞いていました。

池崎先生は、自分が幼い時に読み聞かせを象に残つてある本を選んで、当時を思い出しながら行つたそうです。

り争は和き命の学んで川の町5月3戦没者。が今いのまちは戦の大切だ。昨年生の藤井舞莉さす。続、けあせんも「命の尊さ・平行で（金）い世なりん。うつて失われ。二度と戻れ。命の尊さ。二部抜粋）にて発表。す。界いが。うつて失われ。命の尊さ。二度と戻れ。命の尊さ。二部抜粋）にて発表。いでとた命の尊さ。二度と戻れ。命の尊さ。二部抜粋）にて発表。るは思さ。二度と戻れ。命の尊さ。二部抜粋）にて発表。地争いを忘さ。二度と戻れ。命の尊さ。二部抜粋）にて発表。域いま忘れ。つれ。がやすれ。つれ。があ戦。て平てた。

A man with glasses and a dark polo shirt is holding up an open children's book. The book features a colorful illustration of a cat sitting on a small stool, wearing a green dress and holding a pink flower. He is standing in front of a whiteboard with Japanese writing and a computer monitor displaying a blue screen with icons.

学校教育目標
「夢」の実現へ向け、主体的に学び続ける竜中生
～生徒・地域と共に創っていく学校～

第2号で、「心理的安全性」誰もが安心して意見を出せる学級集団」を目指していると書きましたが、イメージとしては、安心して何でも言い合える家族のような感じでしょうか。現在、取組の一つに帰りの会で、「ほめほめタイム」→よさを紹介し互いに尊重し合う空間を大切にしています。